

## 【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	九州財務局長
【提出日】	平成24年5月9日
【四半期会計期間】	第50期第3四半期（自平成24年1月1日至平成24年3月31日）
【会社名】	株式会社アクシーズ
【英訳名】	AXYZ Co.,Ltd.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 佐々倉 豊
【本店の所在の場所】	鹿児島県鹿児島市草牟田二丁目1番8号
【電話番号】	099(223)7385(代表)
【事務連絡者氏名】	専務取締役管理部長 伊地知 高正
【最寄りの連絡場所】	鹿児島県鹿児島市草牟田二丁目1番8号
【電話番号】	099(223)7385(代表)
【事務連絡者氏名】	専務取締役管理部長 伊地知 高正
【縦覧に供する場所】	株式会社大阪証券取引所 (大阪市中央区北浜一丁目8番16号)

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第49期 第3四半期連結 累計期間	第50期 第3四半期連結 累計期間	第49期
会計期間	自平成22年 7月1日 至平成23年 3月31日	自平成23年 7月1日 至平成24年 3月31日	自平成22年 7月1日 至平成23年 6月30日
売上高(千円)	11,232,002	11,526,983	14,595,858
経常利益(千円)	609,851	399,555	720,538
四半期(当期)純利益(千円)	350,060	266,154	423,550
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	364,923	272,744	436,004
純資産額(千円)	5,733,035	6,006,661	5,804,117
総資産額(千円)	8,408,054	8,557,746	8,382,935
1株当たり四半期(当期)純利益 金額(円)	62.33	47.39	75.42
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	68.2	70.2	69.2

回次	第49期 第3四半期連結 会計期間	第50期 第3四半期連結 会計期間
会計期間	自平成23年 1月1日 至平成23年 3月31日	自平成24年 1月1日 至平成24年 3月31日
1株当たり四半期純利益金額又は 1株当たり四半期純損失金額 ( )(円)	11.45	3.79

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

4. 第49期第3四半期連結累計期間の四半期包括利益の算定にあたり、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 平成22年6月30日)を適用し、遡及処理しております。

#### 2【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

### 2【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び当社の関係会社）が判断したものであります。

#### (1) 業績の状況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響による経済の落ち込みから回復はみられるものの、欧州の債務危機や米国の景気低迷に伴う極端な円高状況に加えてタイの洪水による供給制約の影響等、政界経済の減速感が強まり、依然として先行き不透明感が継続しております。

このような状況下で当社グループは、鶏肉関連事業での販売量が増加したこともあり、売上高は115億26百万円（前年同四半期比2.6%増）と増収となりました。

また、製造原価の低減、経費削減及び生産性向上に努力いたしましたが、営業利益3億16百万円（同40.2%減）、経常利益3億99百万円（同34.5%減）となり、四半期純利益は2億66百万円（同24.0%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### 鶏肉関連

当社グループの柱である当該事業は、ブロイラーの生産及び鶏肉製品の製造を基盤としております。その中で、効率化をさらに推し進めて参りました。ブロイラー飼育過程においては鶏の生態を研究し、飼育過程で与えるストレスをできる限り与えない飼育方法の実施により、ブロイラーの増産につながりました。さらに、当社製品「薩摩ハーブ悠然どり」が拡販できたことを主因に、売上高は90億30百万円（前年同四半期比3.2%増）と増収となりましたが、一部では老朽化した設備の修繕等の実施や燃料費等の生産コスト上昇もあり、セグメント利益は1億10百万円（同62.5%減）の減益となりました。

#### 外食

KFC及びPH店舗のキャンペーンの好調や引き続き積極的なポスティング等により、売上は概ね順調に推移いたしました。また、更なる収益基盤を強化するため業務の効率化に注力してまいりました。

以上の結果、売上高は24億96百万円（前年同四半期比0.6%増）、セグメント利益は2億3百万円（同11.9%減）となりました。

#### (2) 財政状態の分析

当第3四半期連結会計期間末における財政状態は、前連結会計年度末に比べ以下のとおりとなりました。

##### (資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末と比べ1億74百万円増加し、85億57百万円となりました。これは主に投資その他の資産が1億71百万円、工具、器具及び備品が87百万円減少したものの、棚卸資産が2億38百万円、現金及び預金が1億86百万円増加したこと等によるものであります。

##### (負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末と比べ27百万円減少し、25億51百万円となりました。これは主に賞与引当金が76百万円、未払金が55百万円増加したものの、未払法人税等が88百万円、1年内返済予定の長期借入金が51百万円、長期借入金が24百万円減少したこと等によるものであります。

##### (純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末と比べ2億2百万円増加し、60億6百万円となりました。これは主に利益剰余金が1億95百万円増加したこと等によるものであります。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループの事業上及び財務上の対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

当第3四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発費の金額は、73百万円であります。

なお、当第3四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	19,350,000
計	19,350,000

###### 【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末現在発行数(株) (平成24年3月31日)	提出日現在発行数(株) (平成24年5月9日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	5,617,500	5,617,500	大阪証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数 (100株)
計	5,617,500	5,617,500	-	-

##### (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成24年1月1日～ 平成24年3月31日	-	5,617,500	-	452,370	-	428,340

##### (6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7)【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成23年12月31日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成23年12月31日現在

区分	株式数（株）	議決権の数（個）	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式（自己株式等）	-	-	-
議決権制限株式（その他）	-	-	-
完全議決権株式（自己株式等）	（自己保有株式） 普通株式 1,400	-	-
完全議決権株式（その他）	普通株式 5,615,800	56,158	-
単元未満株式	普通株式 300	-	1単元（100株）未満の株式
発行済株式総数	5,617,500	-	-
総株主の議決権	-	56,158	-

【自己株式等】

平成23年12月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数（株）	他人名義所有株式数（株）	所有株式数の合計（株）	発行済株式総数に対する所有株式数の割合（%）
株式会社アクシーズ	鹿児島市草牟田二丁目1番8号	1,400	-	1,400	0.02
計	-	1,400	-	1,400	0.02

2【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（平成24年1月1日から平成24年3月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成23年7月1日から平成24年3月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】  
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,199,464	1,385,636
受取手形及び売掛金	1,050,333	1,142,034
製品	162,788	209,656
仕掛品	234,128	200,428
原材料及び貯蔵品	557,545	782,495
その他	310,008	290,329
貸倒引当金	431	630
流動資産合計	3,513,837	4,009,950
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	396,747	349,139
工具、器具及び備品(純額)	506,069	418,285
土地	2,763,632	2,762,020
その他(純額)	49,529	49,321
有形固定資産合計	3,715,979	3,578,766
無形固定資産	54,155	41,344
投資その他の資産		
投資その他の資産	1,104,034	931,429
貸倒引当金	5,070	3,745
投資その他の資産合計	1,098,964	927,684
固定資産合計	4,869,098	4,547,795
資産合計	8,382,935	8,557,746
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	364,810	362,900
1年内返済予定の長期借入金	91,000	39,500
未払金	869,119	924,622
未払法人税等	165,868	77,731
賞与引当金	-	76,947
その他	78,071	136,181
流動負債合計	1,568,869	1,617,883
固定負債		
社債	499,800	499,800
長期借入金	24,250	-
退職給付引当金	187,640	186,575
役員退職慰労引当金	96,349	104,600
その他	201,908	142,225
固定負債合計	1,009,949	933,201
負債合計	2,578,818	2,551,085



(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年3月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	452,370	452,370
資本剰余金	428,340	428,340
利益剰余金	4,885,168	5,081,122
自己株式	1,087	1,087
株主資本合計	5,764,791	5,960,745
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	39,325	45,916
その他の包括利益累計額合計	39,325	45,916
純資産合計	5,804,117	6,006,661
負債純資産合計	8,382,935	8,557,746

( 2 ) 【 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【 四半期連結損益計算書】

【 第 3 四半期連結累計期間】

( 単位：千円 )

	前第 3 四半期連結累計期間 (自 平成22年 7 月 1 日 至 平成23年 3 月31日)	当第 3 四半期連結累計期間 (自 平成23年 7 月 1 日 至 平成24年 3 月31日)
売上高	11,232,002	11,526,983
売上原価	7,632,040	8,115,850
売上総利益	3,599,962	3,411,133
販売費及び一般管理費	3,070,822	3,094,668
営業利益	529,139	316,465
営業外収益		
受取利息	4,226	2,209
受取配当金	4,749	2,205
持分法による投資利益	55,680	60,427
為替差益	5,644	-
その他	19,904	28,433
営業外収益合計	90,205	93,276
営業外費用		
支払利息	7,817	6,475
為替差損	-	1,729
その他	1,675	1,980
営業外費用合計	9,493	10,186
経常利益	609,851	399,555
特別利益		
固定資産売却益	9,193	25,388
収用補償金	100,725	-
特別利益合計	109,918	25,388
特別損失		
固定資産除却損	1,201	1,252
固定資産売却損	3	-
固定資産圧縮損	93,975	-
投資有価証券評価損	34,076	-
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	21,346	-
特別損失合計	150,602	1,252
税金等調整前四半期純利益	569,168	423,691
法人税、住民税及び事業税	251,983	174,280
法人税等調整額	32,874	16,743
法人税等合計	219,108	157,536
少数株主損益調整前四半期純利益	350,060	266,154
四半期純利益	350,060	266,154

【四半期連結包括利益計算書】  
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年7月1日 至平成23年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年7月1日 至平成24年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	350,060	266,154
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	9,818	6,590
繰延ヘッジ損益	5,044	-
その他の包括利益合計	14,863	6,590
四半期包括利益	364,923	272,744
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	364,923	272,744

【追加情報】

当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年7月1日 至 平成24年3月31日)
(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用) 第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

四半期連結会計期間末日満期手形

四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理をしております。

なお、当四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形が四半期連結会計期間末日残高に含まれております。

	前連結会計年度 (平成23年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年3月31日)
受取手形	- 千円	2,132千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年7月1日 至 平成23年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年7月1日 至 平成24年3月31日)
減価償却費	274,296千円	204,052千円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自 平成22年7月1日 至 平成23年3月31日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成22年9月22日 定時株主総会	普通株式	70,201	12.50	平成22年6月30日	平成22年9月24日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間末後となるもの

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 平成23年7月1日 至 平成24年3月31日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年9月22日 定時株主総会	普通株式	70,200	12.50	平成23年6月30日	平成23年9月26日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間末後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成22年7月1日 至平成23年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	鶏肉関連	外食	計		
売上高					
外部顧客への売上高	8,750,030	2,481,972	11,232,002	-	11,232,002
セグメント間の内部売上高又は振替高	333	-	333	333	-
計	8,750,364	2,481,972	11,232,336	333	11,232,002
セグメント利益	295,773	230,751	526,525	2,613	529,139

- (注) 1. セグメント利益の調整額2,613千円は、セグメント間取引消去であります。  
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自平成23年7月1日 至平成24年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	鶏肉関連	外食	計		
売上高					
外部顧客への売上高	9,030,092	2,496,890	11,526,983	-	11,526,983
セグメント間の内部売上高又は振替高	204	-	204	204	-
計	9,030,297	2,496,890	11,527,188	204	11,526,983
セグメント利益	110,773	203,302	314,076	2,389	316,465

- (注) 1. セグメント利益の調整額2,389千円は、セグメント間取引消去であります。  
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年7月1日 至平成23年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年7月1日 至平成24年3月31日)
1株当たり四半期純利益金額	62円33銭	47円39銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	350,060	266,154
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	350,060	266,154
普通株式の期中平均株式数(株)	5,616,060	5,616,060

(注)潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在していないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年5月7日

株式会社アクシーズ  
取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 工藤 重之 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 竹之内 高司 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社アクシーズの平成23年7月1日から平成24年6月30日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成24年1月1日から平成24年3月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成23年7月1日から平成24年3月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社アクシーズ及び連結子会社の平成24年3月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれていません。